

N-Vision2020

CSR活動目標 N-Vision2020

2017年度 目標と実績

I <建設・顧客>

2020年のあるべき姿

◎最高水準の施工・サービス品質の追求

◎すべてのお客様の最上満足度の実現

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. 土木事業：国土交通省の工事成績評定点の対象年度平均点	78点以上	79.9点	◎
2. 建築事業：お客様アンケートA評価の割合	78点以上	88.1%	◎
3. 国際事業：技術講習会の実施回数	2回以上/年/国	11回/年	◎
	<活動計画> 1. 施工技術検討会の積極的な活用や品質パトロールを活性化させます。 2. 顧客の要望・要求を的確に把握し、施工します。 3. 各国の実情に合わせた品質パトロールと施工技術研修を実施します。	<活動実績> 1. 労働災害撲滅のため、施工技術委員会主導による安全セミナーを開催しました。 2. 顧客の要望・要求を施工部門と共有し、高評価をいただきました。 3. 海外ローカルスタッフを対象に延べ11回の技術講習会を実施しました。	
	自己評価： ◎=達成 ○=ほぼ達成 △=未達成		

今後の方策

1. 施工技術委員会の活動の底上げを図り、本支社土木部が現場と連携することにより、問題の早期発見と解決に取り組めます。
2. 設計・施工案件において提案不足が一部指摘されています。さらなる提案能力の向上を図っていきます。
3. 海外における研修を継続するうえで、ローカルスタッフの国内研修や日本人若手職員に対する講習会を実施します。



Ⅱ <安全・健康>

2020年のあるべき姿

◎労働災害ゼロの実現

◎長時間労働の解消と快適職場の実現

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. 休業4日以上 の 度数率	0.6以下	0.72	△
2. 休業1日以上 の 度数率	1.2以下	1.12	◎
3. 振替休日取得日数	—	—	—
4. 海外駐在社員の休暇取得率	95%以上	94.9%	○
	<活動計画>	<活動実績>	
	1. 「アクション7」(ヒューマンエラー防止の7つの施策)の完全定着による徹底排除	1. パトロールにおける指導を通じて定着の促進を図りました。	
	2. 職長を軸とした安全衛生体制の確立	2. 職長会の好事例を水平展開し、活動の活性化を図りました。	
	3. 残業時間計画書の運用およびモニタリングの実施	3. 社員の意識改革が進み、振替休日と代休を合わせ休日の取得日数が増加しました。	
	4. 計画的な休暇取得の励行	4. 慢性的な長時間労働の解消に努め、休暇取得率が向上しました。	
			自己評価： ◎=達成 ○=ほぼ達成 △=未達成

今後の方策

1. 指差呼称の定着を徹底するため、各現場で必ず行う指差呼称の項目を選定し定着の強化を図ることとします。
2. 5年毎に受講することになっている職長能力向上教育をもれなく受講させ、職長が自主的に安全管理をするよう努めます。
3. 休日取得実績は向上したものの、長時間労働を削減するという更なる意識改善が必要です。IT活用、生産性向上、土曜閉所を重点的に取り組み長時間労働の改善を図ります。
4. 海外駐在社員の休暇取得率を向上するために、実情に合わせた利用しやすい規約の改定を実施しました。今後も利用促進にむけた啓発活動を推進します。



Ⅲ <雇用・人権>

2020年のあるべき姿

- ◎働き続けられる職場づくり
- ◎公平・公正な雇用の創出

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. 各種資格取得率	(事業部門別による)	【土木】 技術士保有者数223名 1級土木施工管理技士保有者数724名 【建築】 1級建築士保有者数411名 1級建築施工管理技士保有者数817名	—
2. 女性総合職比率	3.5%以上 <活動計画> 1. 各事業部門単位で具体的な計画を立て、取得にむけた支援を行います。 2. 新卒採用の女性比率向上に取り組めます。	3.6% <活動実績> 1. 個別指導や過去問題の配布、模擬試験を実施しました。 2. 積極的な採用活動により、女性比率が向上しました。	◎

自己評価： ◎ = 達成 ○ = ほぼ達成 △ = 未達成

今後の方策

- さまざまな支援策の中で、場所と時間を選ばないeラーニングを実施しましたが、実績には大きく反映されませんでした。資格を取得するという意識改革が必要であるため、引き続き啓発活動と具体的な支援策を実施していきます。
- ダイバーシティに関する取組みは前進していますが、向上の余地が見られます。今後は、人材育成に重点を置き取組みを推進していきます。



IV <ガバナンス>

2020年のあるべき姿

- ◎説明責任に対応したコーポレートガバナンスの確立
- ◎業務と組織の見える化による信頼確保
- ◎コンプライアンスの徹底
- ◎徹底したリスク管理による事業の継続性と信頼確保

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. コンプライアンス意識調査の総合評価点	1.14点以上	1.25点	◎
2. 社有パソコン暗号化率	65%以上	65%	◎
	<活動計画> 1. 効果的かつ実践的な研修を実施します。 2. 社有パソコン更新入替の際に、より強固な暗号化対策を進めます。	<活動実績> 1. 各種階層別研修およびコンプライアンス委員長研修や全役職員を対象としたeラーニングを実施しました。 2. 情報セキュリティ講義を実施し、情報漏えい防止に対する啓発活動を実施しました。	

自己評価： ◎=達成 ○=ほぼ達成 △=未達成

今後の方策

- コンプライアンス意識の評価点は、目標以上の結果となりました。今後も、研修を継続し、社内におけるコンプライアンス意識のさらなる向上・浸透を図ることで、ステークホルダーの皆様の期待や要請に応えられるコンプライアンス企業を目指します。
- 社有パソコンの更新入替の際に、より強固な暗号化対策を進めています。またパソコン盗難以外による情報漏えいに対し、対策および訓練を強化していきます。



2020年のあるべき姿

- ◎環境経営先進企業にむけた取組み
- ◎環境コンプライアンス維持基盤の確立と永続的な継承
- ◎環境ソリューション事業の積極展開

KPI	2017年度目標	実績	自己評価
1. CO ₂ 排出原単位 (t-CO ₂ /億円)	前年度比1,300t-CO ₂ 削減	前年度比1,528t-CO ₂ 削減	◎
2. 建設廃棄物の最終埋立処分率 (%)	3.0%以下	2.71%	◎
3. 現場における生物多様性保全活動実施率 (%)	85%以上	99%	◎
	<活動計画> 1. CO ₂ 排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ● バイオディーゼル燃料・軽油燃焼促進剤 (K-S1) の導入促進 ● 現場仮設照明のLED化 ● 省エネ対策型建設機械の導入促進、省燃費運転講習の実施 2. 廃棄物ゼロエミッションの追求 <ul style="list-style-type: none"> ● 信頼性のある高リサイクル業者との委託推進 ● 西松分別ルールの利用による混合廃棄物の削減 3. 生物多様性保全活動の実践 4. 社員の環境意識・知識の向上	<活動実績> 1. バイオディーゼル燃料：約116,000リットル、K-S1：約600リットルを導入しました。現場仮設照明のLED化を進め、仮設照明を使用する全現場に導入しました。省エネ対策型建設機械 (ハイブリットバックホウを含む) を年間約6,300台日導入しました。また現場にて省燃費運転講習会を開催しました。 2. 高リサイクル業者との委託及び現場における分別の徹底により、混合廃棄物の最小化に取り組みました。 3. 各現場で生物多様性に配慮した施工を実施しました。また全国各地で生物多様性イベントによる社員教育を行いました。 4. 昨年度に引き続き環境セミナーを開催しました。また環境法令に関する意識を高める環境講習会を実施しました。	
自己評価： ◎=達成 ○=ほぼ達成 △=未達成			

今後の方策

- 「脱炭素」に向け環境技術の検討、試行を進めるとともに、CO₂排出量削減のより一層の取り組みを進めていきます。
- バイオディーゼル燃料・K-S1の更なる導入等施工におけるCO₂削減を図り、CO₂排出原単位を2020年度に1990年度比で50%削減します。
- 廃棄物の適正処分とリサイクルを進め、最終埋立処分率を2020年度に2.6%以下にします。
- 施工における生物多様性配慮とともに、サンゴ礁保全等の生物多様性保全活動の充実を図ります。
- 社員の環境意識・知識の向上のため、継続的に、環境セミナーや環境講習会を実施します。



2020年のあるべき姿

◎企業市民としての積極的社会参加

◎事業スキルを活かした貢献

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. 年間社会貢献活動実施数	80件/年 <活動計画> 1. 地域社会と良好な関係の構築につながる社会貢献活動の実施	81件 <活動実績> 1. 国内外でさまざまな活動が実施されました。 <ul style="list-style-type: none"> • 福岡県のこども食堂支援活動 • 山梨県の「にしまつの森」森林保全活動 • 香港の海岸清掃活動 	◎

自己評価： ◎ = 達成 ○ = ほぼ達成 △ = 未達成

今後の方策

- 今後も、社員一人ひとりが社会貢献活動の意義を認識し、さらなる活動の展開が図れるよう取り組みます。



Ⅶ <産業・サプライチェーン>

2020年のあるべき姿

◎適正なCSRサプライチェーンの構築

KPI	2017年度目標	実績	自己評価
1. 年度ごとのNネット会員への発注率（金額ベース）	【土木】70%以上 【建築】躯体系90%、仕上系60%以上 <活動計画> 1. Nネット会員と現場支店支社の距離感を近付ける取組みを進めます。	【土木】64.6% 【建築】躯体系79.2%、仕上系55.5% <活動実績> 1. 計画受注と早期発注により発注率を向上させました。 2. Nネットホームページに今後発注予定を開示し、計画発注に取り組みました。	△

自己評価： ○=達成 ○=ほぼ達成 △=未達成

今後の方策

- Nネット会員が手薄な地域・地区での優良会社の発掘を推進します。
- Nネット会員に発注することの優位性を明確にし、当社と会員がWin-Winとなる関係を推奨するしくみを推進します。



+ 1 <コミュニケーション>

2020年のあるべき姿

- ◎ CSR活動の積極的発展
- ◎ CSR活動の適切性確保

K P I	2017年度目標	実績	自己評価
1. 投資家むけ現場見学会の年間開催件数	1回以上	—	△
	<活動計画> 1. 現場見学会を通じて、最先端の情報を提供し、当社事業への理解を深めます。	<活動実績> 1. 現場見学会は開催しなかったが、香港・シンガポールの投資家へのIR活動を実施しました。	

自己評価： ◎ = 達成 ○ = ほぼ達成 △ = 未達成

今後の方策

- 要望の高いシールド工場の現場見学会開催を検討します。
- 投資家との対談を積極的に実施します。

